

令和3年2月19日 出入国在留管理庁 様

多文化共生によるまちづくり

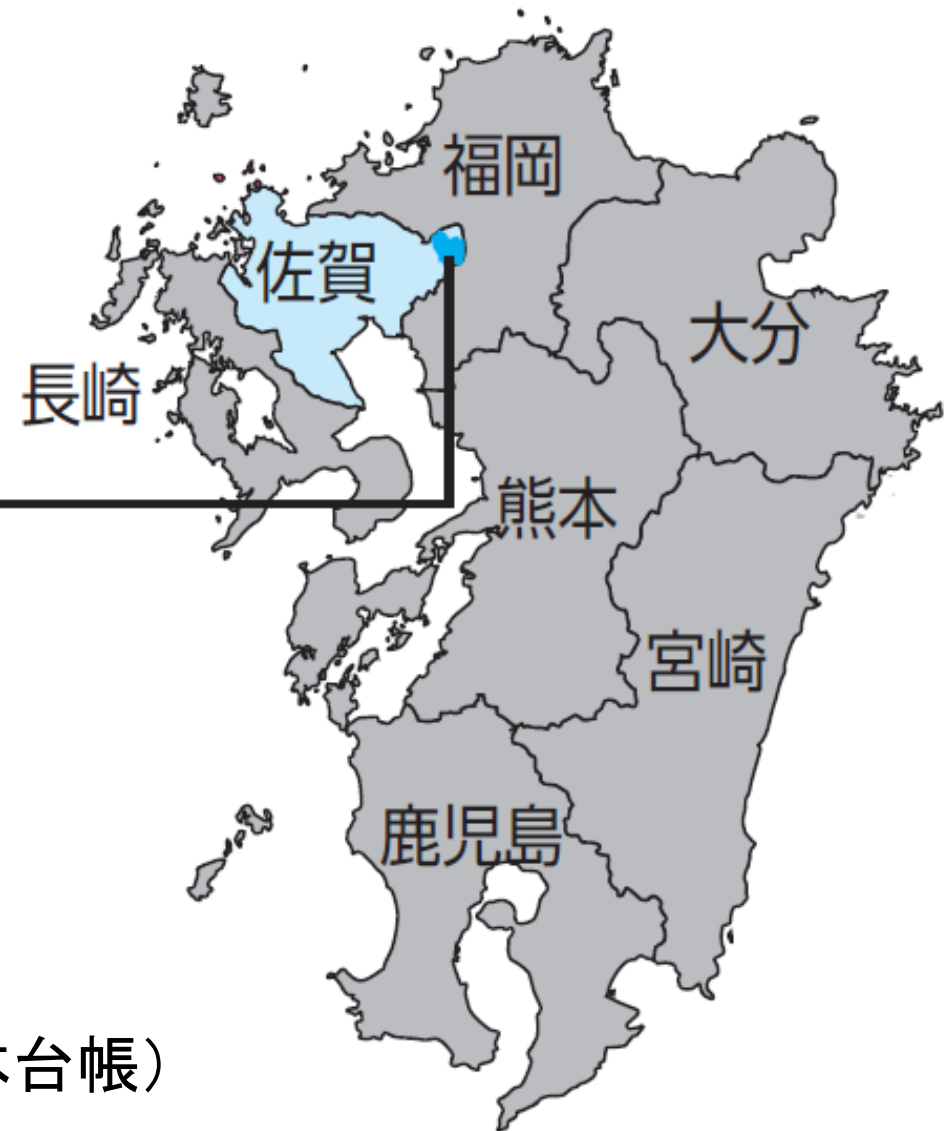
～互いに理解し合い、暮らしやすいまちを目指して～



佐賀県鳥栖市 市民環境部 市民協働推進課

男女参画国際交流係 下川 有美

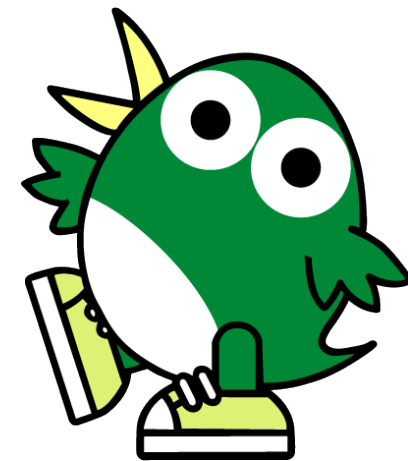
1 鳥栖市の概要



面積 71.72km²

人口 73,894人 (R1.12月末現在 住民基本台帳)

1 鳥栖市の概要



鳥栖市イメージキャラクター
とっとちゃん

■ 高速道路を使用した場合の所要時間

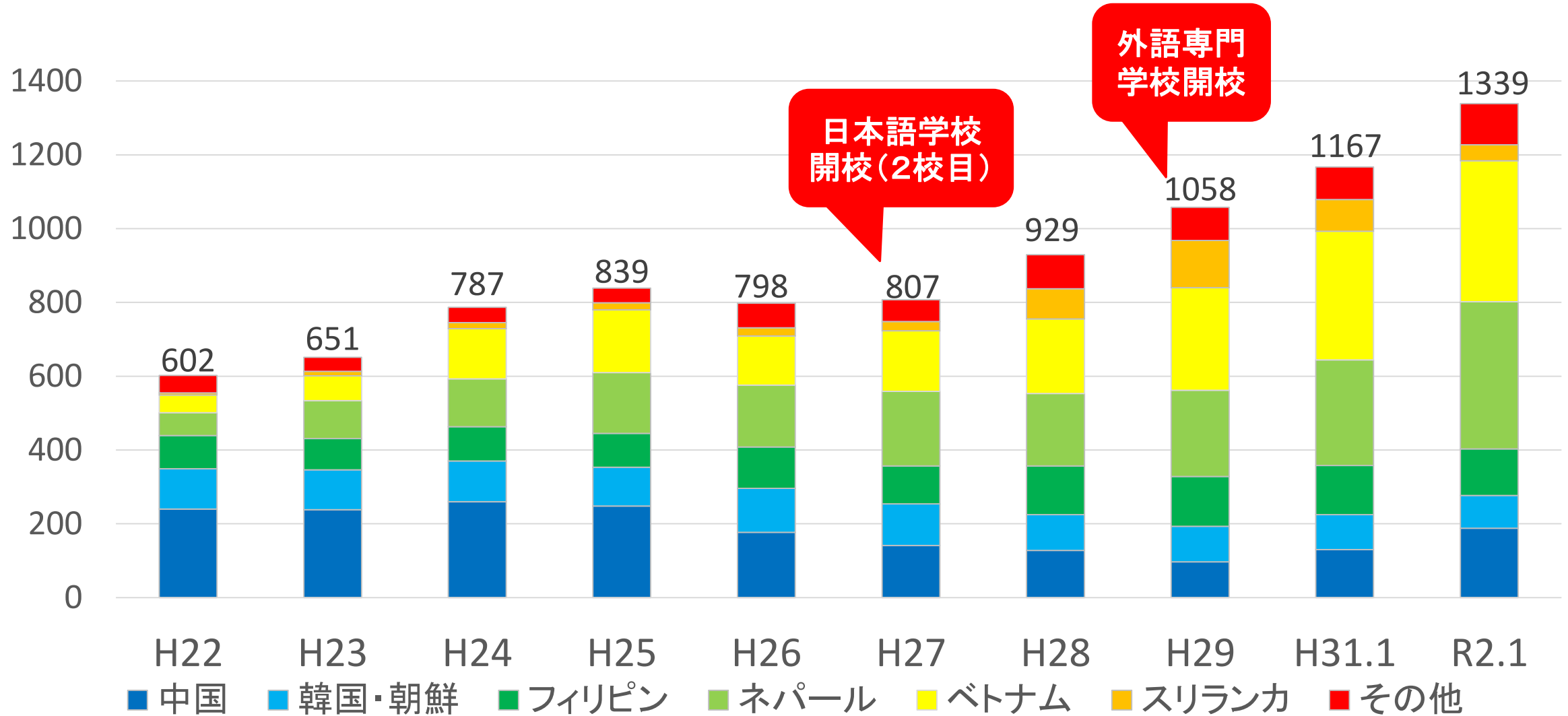
福岡	18分
熊本	48分
長崎	1時間16分
大分	1時間32分
鹿児島	2時間53分
山口	2時間6分
広島	3時間28分

九州全域
山口・広島まで
3時間圏内

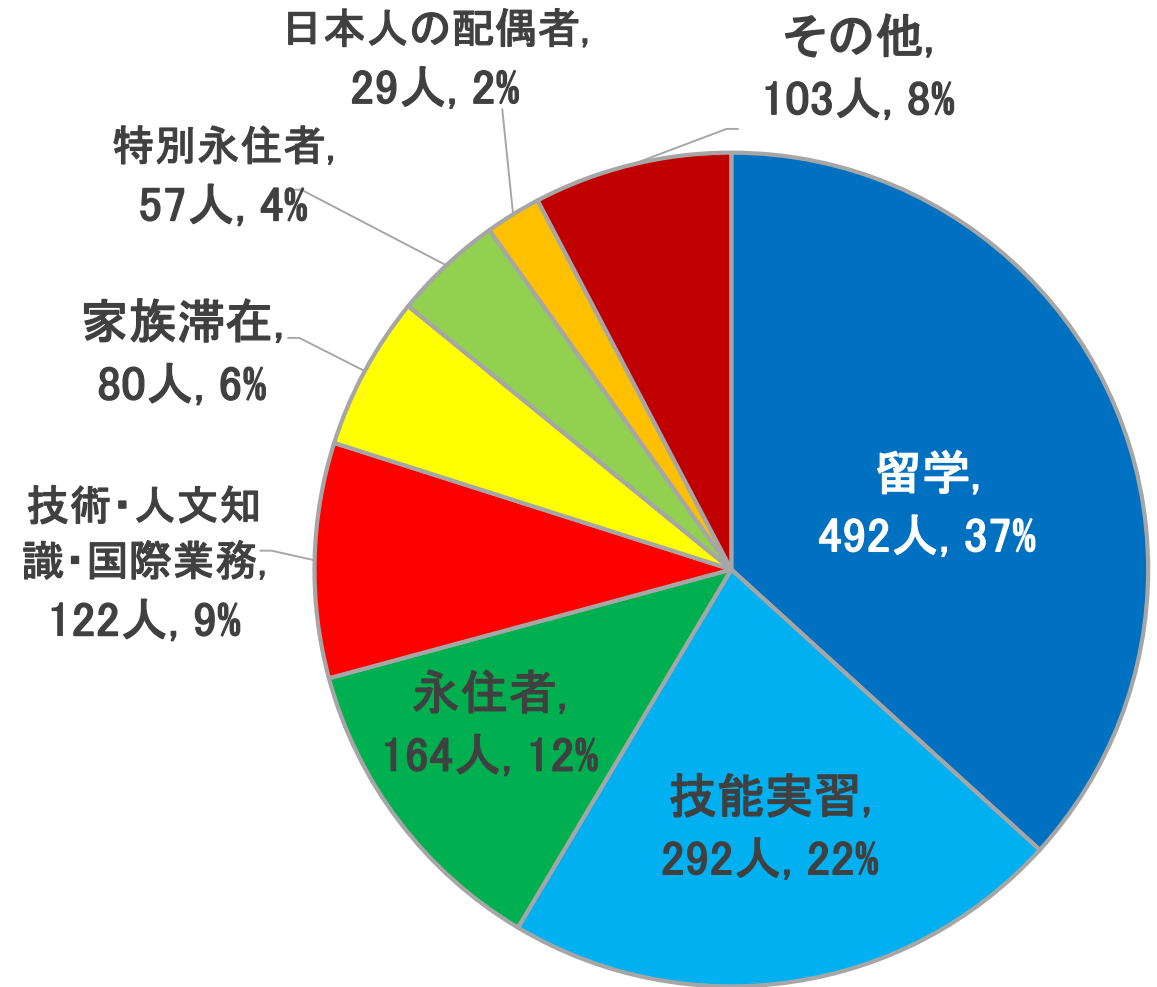
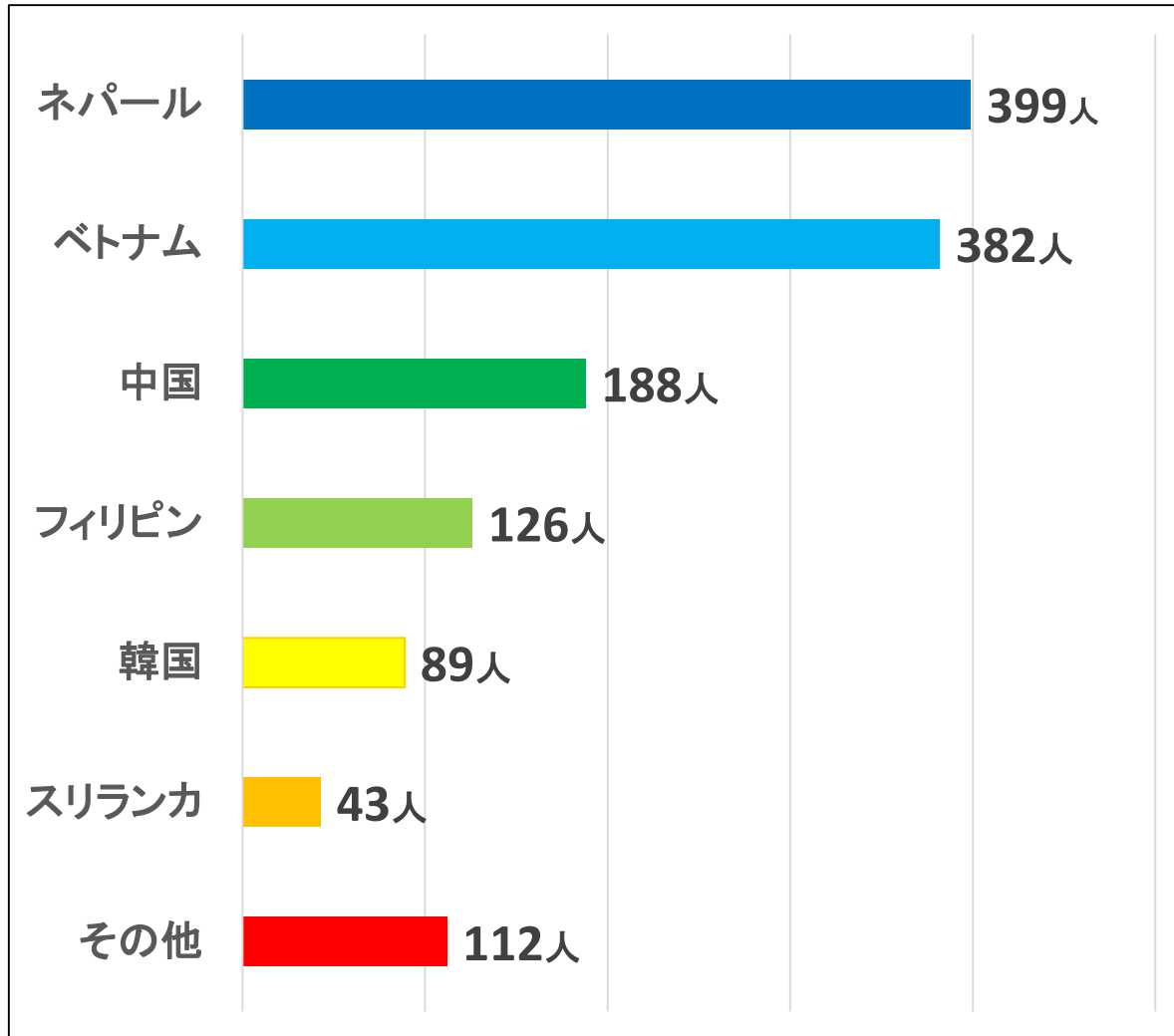
■ 九州新幹線を利用した場合の新鳥栖駅からの所要時間

博多駅	12分
熊本駅	24分
鹿児島中央駅	1時間12分
広島駅	1時間19分
新大阪駅	2時間38分

2 外国人住民数(人口の推移)



2 外国人住民数(国籍・在留資格別) 令和2年1月1日



3 外国人に対する施策

平成26年5月、留学生に生卵
などを投げつける事件が発生!!



①国際交流イベント「こくさいカフェ」

・10月 こくさいカフェ・祭り編(日本人300人、外国人30人、スタッフ30人:計360人)



・11月 こくさいカフェ・スポーツ編(日本人65人、外国人46人、スタッフ12人:計123人)



・2月 こくさいカフェ・交流編(H30:日本人27人、外国人46人、スタッフ46人:計123人)



②市報とす「こんにちは鳥栖！」

🍀こんにちは鳥栖！～市内に住む外国人エッセイ～ vol.28 🍀

私の国はインドの東側にある小さな国ですが、人口は多く、自然豊かな国です。コックスバザールという世界で一番長い海岸があり、週末には地元の若者や家族連れなどはもちろん、外国人観光客も多く訪れます。私の国はイスラム教徒が多く、あまり肌を見せませんので、男性も女性も服を着て海に入っています。水着を着るのが恥ずかしい人は、是非コックスバザールビーチで海を楽しんではいかがですか。街の様子は、いたる所に日本人のエンジニアによって作られた高速道路、橋、地下鉄などの建築物があります。これらの建築物の寿命は長く、デザインも素晴らしいです。私は、日本に留学して土木建築学を学びたいと思う



国籍
バングラデシュ

名前 カリム レザウル
年齢 24歳
好きな言葉
「意思のある所に道あり」

ようになりました。

そして今、鳥栖の専門学校で大学に進学するために日本語を学んでいます。鳥



学内行事で母国を紹介

栖はきれいで安全な街です。住んでいる人は親切で親しみやすく、困ったときは誰でもいつでも優しく教えてくださいます。「こくさいカフェ」のようなイベントや交流会、ボランティア活動に参加して日本人と仲良くなり、いろいろなことを学んで日本の文化を深く理解できるようにになりました。私はここ鳥栖で、人間としてとても成長できたと思います。

最後に、日本で土木エンジニアになって仕事をし、そして帰国したら、先人の日本人が我が国にしてくれた事をもっと手助けできるように貢献したいと思います。

■やさしい日本語クイズ答え
(9ページ)①初めてみてもらう②病院のカード③もっと悪くなる④薬を飲む

③市報とす「やさしい日本語クイズ」



「やさしい日本語」は、普通の日本語より簡単で、外国人もわかりやすい日本語のことです。こう言えば必ず理解できる、という決まった表現はありません。相手に合わせて工夫することが大切です。

問題 ①初診 ②診察券 ③悪化する ④服用する ※答えは24ページ

- ④市報とす「外国人の人権を守りましょう」
- ⑤市ホームページ「がいこくのかたへ」
- ⑥出前講座「やさしい日本語」や「多文化共生のまちづくり」
- ⑦日本語教室「とすにほんごひろば～とりんす～」

3 外国人に対する施策

■平成28年度まで…

市民ボランティアが主体となり実施している外国人のための日本語教室などの広報を行い、活動を支援する

約15年間活動されていた市内唯一の日本語教室が、
高齢化などを理由に平成28年度もって閉鎖される…

■課題

- ①日本語が話せない外国人に対して、日本語指導を行うところがないと、生活するうえで困難な状況になる。
- ②日本語が分からず、ゴミの分別や交通ルール等の認識の違い、生活習慣の違いなどからトラブルが発生することが想定される。
- ③地域住民とコミュニケーションが取れないことで、地域住民との共生が困難となる。
- ④就職や就学上でも支障をきたす恐れがあり、引きこもりや生活困窮者になる可能性がある。



市民団体による活動をベースとしてきたから、外国人住民の日本語学習の状況や日本語能力・学習ニーズなどの基礎的なデータがない…

3 外国人に対する施策



- ・予算がない
- ・人材がない
- ・何から取り掛かればいいのか分からない



「生活者としての外国人」
のための地域日本語教育
スタートアップの活用



疑問1: 市が技能実習生に対して日本語を教えるのは企業の利益にならないのか？

疑問2: 日本語学校との役割分担は？

疑問3: 日本語検定対策はできるのか？



日本語検定対策ではなく、生活者として必要なルールや文化を理解してもらうことで、住みやすいまちになる！

4 地域日本語の体制整備

(1)平成28年度(1年目)

■アドバイザー会議(4回)

- ・日本語教室開設に関する情報収集⇒閉鎖する日本語教室へのヒアリング、教室会場の視察
- ・アンケート調査、分析⇒県や県国際交流協会、コーディネーター候補者と意見交換を行い、情報共有を図る
- ・日本語教室視察(岡山県総社市)⇒目指すべき教室の形について検討し、関係者と情報共有を図る

どんな日本語教室があればいい?

- ・日本語や生活上必要なルールや知識が得られ、災害時に対応できるよう学べる場所
- ・外国人住民の心のよりどころになるような場所
- ・楽しく交流するような場所
- ・交流してお互いが学べる場所

アンケート結果



どんなことに困ったことがある?

- ・病気になった時
- ・公共機関を利用する時
- ・買い物をする時
- ・漢字が分からない
- ・遊ぶところが分からない
- ・外国人に支援してくれる場所が分からない
- ・日本の習慣やマナーが分からない

4 地域日本語の体制整備

(2)平成29年度(2年目)

■体制整備のための調整

◎関係課等との協議や依頼

(小中学校長会、保育園、幼稚園、市内企業、健康増進課、保育園長会、子育て支援センター等)

■人材育成のための調整

◎にほんごパートナーオリエンテーションⅠ(28人応募、先着20人参加)

◎にほんごパートナー養成講座①②(20人参加)

◎にほんごパートナーオリエンテーションⅡ(4人参加)

◎にほんごパートナー養成講座①(4人参加) ※21人で活動

■日本語教室開設に向けた準備・検討

◎アドバイザー会議(4回:アドバイザー-2人、コーディネーター-8人、市担当者2人)

◎コーディネーター会議(コーディネーター-8人、市担当者2人)

■日本語教室の内容

◎にほんごひろば～とりんす～試行(日曜日教室4回、火曜日教室4回)



4 地域日本語の体制整備

(3)平成30年度(3年目)

【目標】

生活者としての外国人住民に対して、日本語や日本の文化、ルール、風習などを学ぶ場を提供する。

■外国人参加者

[国籍] 中国20人、ベトナム18人、フィリピン17人、カンボジア10人、ネパール3人
インドネシア2人、タイ2人、メキシコ1人、ジャマイカ1人

[属性] 技能実習生や研修生、日本人の配偶者等が主な対象

■参加者数

受講者74人、支援者27人(日本語指導者6人、サポーター21人)
延べ人数(受講者221人、にほんごパートナー124人)

■開催時間数

総時間:30時間(1.5時間×20回)



4 地域日本語の体制整備

(4)地域日本語教育スタートアップ事業に取り組んでの課題

- ①日本語講師には、日本語教育への対応の他にも事業計画、教案・資料作成などの業務があり、多様なスキルが求められる ⇒無償での講師の人材確保は難しい
- ②教室運営をサポートする「ボランティアスタッフ」を安定的に確保することが困難
- ③教室の安定的な運営のための費用の確保が現状では困難である。



課題解決のためには、行政としての一定の関与が今後も必要

4 地域日本語の体制整備

(5)課題を解決するために

多文化共生のまちづくりを進めるうえで、日本語教育は行政が主体となって取り組む必要があるため、文化庁の補助事業終了後の令和元年度からは、単独事業として日本語教育事業を継続して実施

◎平成31年4月の入管法の改正により、今後、外国人住民がさらに増える。

◎鳥栖市国際交流(多文化共生)基本方針<後期方針>において、日本語教育によるコミュニケーションの支援を重点取組として位置づけ、日本で生活するうえで必要な日本語や生活のルール、文化、風習などについて学ぶ場に取り組むこととしている。

5 基本方針の改定

令和元年度～令和4年度：第2次鳥栖市国際交流(多文化共生)基本方針(後期方針)

互いに理解し合い、暮らしやすいまち	基本方向	基本目標	主要施策
	1 国際性を育む 地域づくりの推進	1 国際理解の推進	①小・中学校における国際化教育の推進 ②異文化理解のための各種講座の開催 ③外国人の人権尊重
2 多文化共生の 地域づくりの推進	2 国際交流活動の 推進	①友好交流都市や諸外国との交流の推進 ②民間交流団体との連携強化 ③国際協力活動の支援	
2 多文化共生の 地域づくりの推進	1 外国人も暮らしやすい 環境づくりの推進	①「やさしい日本語」の普及と活用(※新規) ②分かりやすい生活情報の提供 ③外国人からの相談に対応できる体制の充実 ④日本語教育によるコミュニケーションの支援 ⑤防災・災害対応について学ぶ機会の提供(※新規)	
2 多文化共生の 地域づくりの推進	2 外国人との地域交流の 推進	①外国人住民の地域活動への参加支援 ②多文化理解に関する啓発活動の推進 ③外国人住民との交流機会の創出	

6 外国人のための日本語教育事業

※令和2年度予算
(479千円)

(1)外国人のための日本語教育事業(市主催事業)

外国人住民のセーフティネットとして、外国人住民が日本で生活するうえで必要な日本語や生活のルール、文化、風習などについて学ぶ場として日本語教育事業を実施する。

(1)日本語教室

・とすにほんごひろば～とりんす～を月2回(年間24回)開催する。
(講師謝金:@5,700円×2人×24回)



とりんすフェイスブック



(2)ボランティア養成講座

・日本語教育に必要な知識や心構え、「やさしい日本語」について学ぶ講座を開催し、とりんすの活動をサポートするボランティア「にほんごパートナー」を育成する。※フォローアップ研修も兼ねて開催(年2回)
(アドバイザー謝金:@10,000円×2回)

(3)運営会議

・アドバイザーとコーディネーター、行政で日本語教室運営に関する課題などについて協議する。(年3回)
(アドバイザー謝金:@10,000円×3回、コーディネーター謝金@5,700円×7人×3回)

6 外国人のための日本語教育事業

(2)とすにほんごひろば～とりんす～

楽しく学び合う！



テーマ	主な内容
防災	消防署見学、地震、台風、防災フェスタ
余暇	祭、祭参加、花火大会
医療	病気の予防、薬、病院、病院体験
交通	自転車のルール、電車の乗り方
社会	まちあるき、方言
買い物	食べ物、衣類その他
あいさつ	自己紹介、年賀状
公共	公共マナー(ごみ、騒音)
文化	もちつき、習字体験、茶道体験



病院体験



防災(ハザードマップ)



自転車のルール



盆踊りの練習



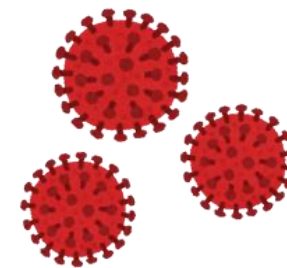
もちつき



消防署見学

6 外国人のための日本語教育事業

(3)外国人のための日本語教育事業(令和2年度)



3~5月

新型コロナウイルス感染防止
のため開催中止

再開のめどがたたない

6月~

ZOOM(無料版)を活用し
オンラインで教室再開

再開できなかった理由

- ・構造上、窓の開閉ができない
- ・人数制限15人では入りきれない
- ・対面では感染リスクがある
- ・マスクをすると顔や表情が分からず、声や発音が聞きづらい



オンラインでの実施方法

- ・無料版は40分で終了する
(前半40分 → 休憩10分 → 後半40分)
- ①ミーティングルーム(全員で語彙や説明など)
- ②ブレイクアウトルーム(3~4人でグループトーク)
- ※①②を3回程度繰り返す



- ↓
- ・5月下旬 コーディネーター会議(オンライン:2回)
 - ・6月 7日 にほんごパートナー研修(オンライン)
 - ・6月14日 日本語教室再開(ZOOM:無料版)

6 外国人のための日本語教育事業

(3)外国人のための日本語教育事業(令和2年度)

実施して良かった点

- ・オンラインでの実施に不安はあったが、参加者が笑顔でうれしそうに話してくれる。
- ・マスクなしで顔を見て話すことができる。
- ・実際にやってみると慣れは必要だが難しくはない。
- ・通常の日本語教室と同じスタイルで実施できる。
- ・あまり参加していなかった学習者が参加してくれるようになった。
- ・雨天時は参加者が少なかったが、オンラインだと関係ない。自宅から参加できるのは大きなメリット。
- ・今後も、大雨や台風などの場合に、オンラインに変更することができる。

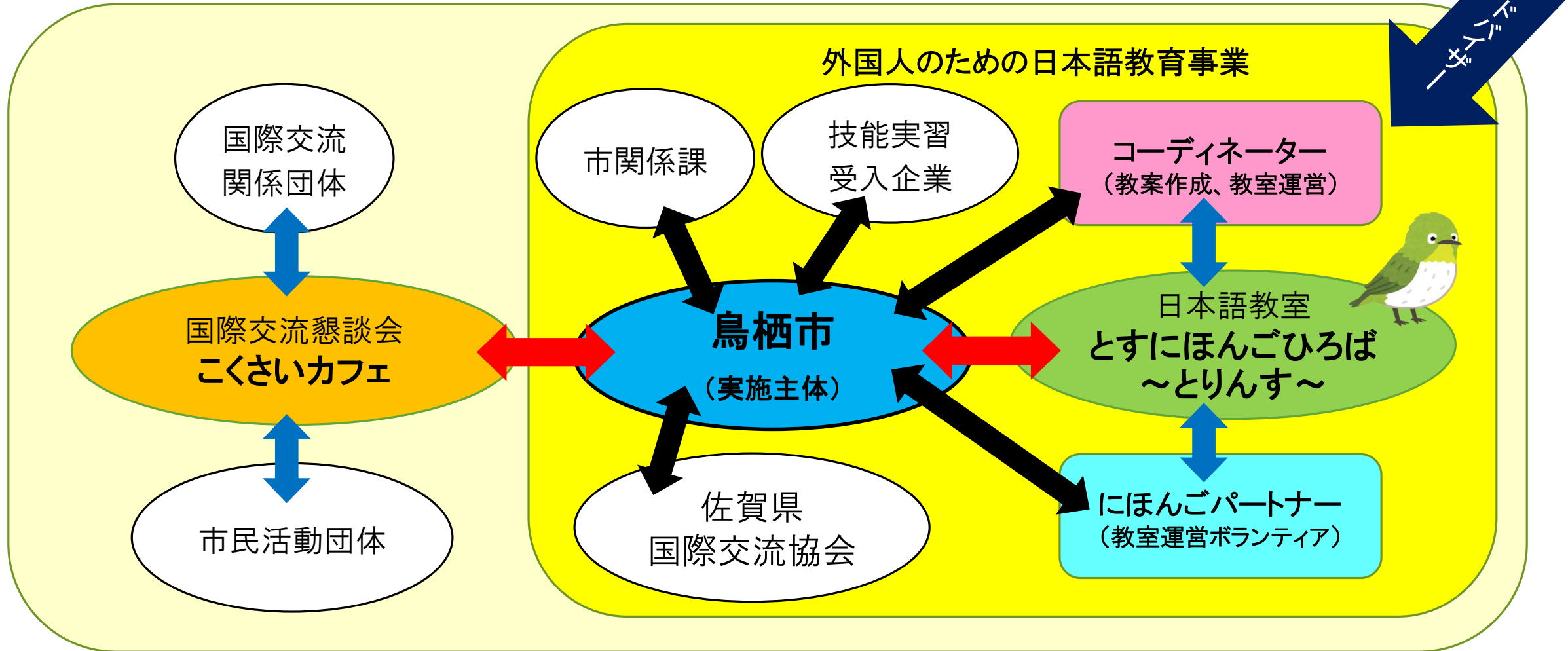
注意点

- ・ホストは、タイムキーパー、グループ分け、画面共有などをするため、担当コーディネーターと事前打ち合わせを十分に行う。
- ・IDとパスワードは固定している。
- ・通常のプリント配布ができないため、画面共有を使い、語彙やイラストを表示している。
- ・画面共有資料は、文字や絵をスマホでも見えるように大きくする。
- ・自分の名前になっていない人は、ホストが変更する。
- ・グループ分けは、日本人と外国人の割合に注意する。(メンバーの入れ替えは可)

※対面での日本語教室が望ましいと考えているため、時期を見て対面形式に戻したい。

6 外国人のための日本語教育事業

(4)関係団体の役割分担図



6 外国人のための日本語教育事業

(5) 今後の課題

- ◎今後、益々、外国人住民が増加し、多国籍化により使用される言語が多様化することが見込まれる。
- ◎このため、共通言語としての「やさしい日本語」の普及と活用が急務であり、学ぶ場の必要性は高い。
- ◎「やさしい日本語」は、外国人に分かりやすいだけでなく、高齢者や子どもにも分かりやすい言語として注目されている。



多文化共生のまちづくりを推進するためには、「日本語教育事業」が担う役割は大きく、共通言語としての「やさしい日本語」の普及と活用は、日本人や外国人の区別なく、全ての人が活躍できる社会づくりに必要不可欠な事業として対応が必要であり重要となる。

7 なぜ「やさしい日本語」なのか？

◆災害時の情報発信



◆多言語での情報発信の限界



◆生活者としての外国人 ニーズへの対応



◆日本人にもわかりやすく



7 なぜ「やさしい日本語」なのか？

どちらがよりたくさんの人に理解されると思いますか？

A

- ① 召し上がる
- ② 土足厳禁
- ③ キャンセルする
- ④ 高台に避難する

B

- ① たべる
- ② くつを むいでください
- ③ やめる
- ④ 高いところへ 逃げる

8 地域における多文化共生

国際交流

国際協力

地域における多文化共生

多文化共生とは・・・

国籍や民族などの異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら生きていくこと

まとめ

鳥栖市には・・・

- たくさんの国の人に住んでいます。
- 使う言葉もそれぞれ違います。
- 日本語の勉強や仕事のために日本に来た人がたくさん住んでいます。



重要!

やさしい日本語

やさしい日本語



外国人だけではなく、
高齢者や子どもにも
分かりやすい言葉



日本にしながら、外国
の文化や風習などを
知ることができる



やさしい日本語



やさしい気持ち

魔法の言葉



多文化共生のまちづくり